

# きらめき 2024 2 No.77 月号

発行：阪神医療生活協同組合  
小中島支部編集委員会

## ふるさと雪まつり開催

第30回ふるさと雪まつりが開催されます。今回より飲食が復活します。2023年夏に大雨による被害を受けた香美町小代区へのカンパを目的としたカニ汁を販売します。

- 日時：2月11日（祝）10時～14時
- 会場：丸橋公園（尼崎市口田中1丁目）
- 9:50 雪だるまコンテスト受付開始
- 注：30組に限定されています。
- 10:00 開会
- 10:15～10:40 雪だるま作り
- 11:00 未来太鼓道場（和太鼓）
- 11:30 雪だるまコンテスト発表
- 11:45 園田中学校吹奏楽部
- 12:30 双星高校吹奏楽部
- 14:00 閉会



## 小中島診療所開設60年 今後もともに歩みます

小中島支部長 松上辰之

明けましておめでとうございます。皆様とともに新春をお祝いしつつ、元旦に発生した能登半島地震で亡くなられた方へ哀悼の意をささげるとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。改めて自然の脅威を痛感していますが、一日も早い復興を願うばかりです。

世界に目を転ずれば、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのゴザへの攻撃は続き、その犠牲者の多くは、高齢者、女性、子供たちです。またミャンマーでは民主化を求める市民への虐殺も続いています。世界が新年を祝うにはほど遠い状況です。

岸田政権は、軍事費を5年間で4.3兆円にする、専守防衛をやめて「敵基地攻撃」ができる国にする、外国への武器輸出へ舵を切るなど「平和国家日本」を変えて「軍事大国日本」への道へと突き進んでいるように見えます。改めて、年頭にあたり、小中島支部としても、平和への取り組みを強めなければとの思いです。

今年は小中島診療所が開設されて60年です。地域で「個人の開業医」でもない診療所が60年間も存在できたのは、組合員の皆様が『自分の診療所』として守り育ててきたこと。そして地域の『かかりつけ医』として頼りになる診療所であったこと。ではなかったでしょうか。

小中島支部として、今年は、昨年の諸行事をより楽しいものにしていくこととともに、今年は、若い世代の人も参加できやすい行事や活動をつくっていくことだと考えています。

今年も皆様とともに歩んでいきます。よろしくお祈りします。



## 2024年

### 小中島支部 お花見



日時 3月30日（土）11時～13時  
場所 若王寺公園  
持ち物 お弁当・飲み物・敷物



- お弁当と飲み物を持って楽しみましょう
- 豪華賞品付きのゲーム大会もやります



他にもプレゼントがあるかも!?

※ 雨天の場合は翌日に実施

### フレンドリー映画会 日時：毎月第1水曜の9時半～ 場所：きらめきセンターで。

- 2月 自転車泥棒（ランベルト・マジョラーニ）、
- 3月 アフリカの女王（ハンフリー・ボガード、キャサリン・ヘップバーン）、
- 4月 憧れのハワイ航路（岡晴夫、美空ひばり）、
- 5月 雨に唄えば（ジーン・ケリー）、6月 伊豆の踊子（吉永小百合）

皆様へ この「きらめきニュース」の内容に関するご意見などあれば地域活動ポートセンターまたは編集委員会まで御連絡下さい。またニュースの手配りの為の折り込みは偶数月の第一火曜の朝 9:30 からきらめきセンターで行っていますので、ご協力をお願いします。

### 能登半島地震対応の募金活動

阪神医療生協としては急遽1月6日（土）午後に募金活動をJR尼崎駅横通路で実施しました。中村理事長他5つの支部から職員、組合員が約40名集まり、わずか1時間でしたが



外国人を含め、多くの通行の方々から約21万円が寄付されました。寄付金はすでに1月2日に先発隊が出発し、現地への物資提供、情報収集等を開始している「被災地NGO協働センター」に送られました。引き続き募金が集まるように小中島支部としてはきらめきセンターに募金箱を設置しています。





## 新年会 開催

1月7日(日)に4年ぶりに新年会がきらめきセンターで開催されました。お正月らしく大正琴の華やかな調べで始まり、来賓の挨拶、乾杯と続いて久しぶりの会食になり皆さんお話はずんでいました。途中、キーボードの演奏で手話を教えてもらいながら“ふるさと”の合唱をしたり、飛び入りの演奏や歌もあって楽しい時間をすごしました。最後に抽選会をして今年一年も皆で生協の組合活動を盛り上げていくことを誓っておひらきとなりました。ご参加いただきました40名の組合員の皆さまありがとうございました。(森 靖恵)



大正琴 祥の会



高島ご夫妻他



坂本裕弥さん

## 里芋掘りのお手伝い

2度目の小園小3年生(約110名)対応の里芋掘りが12月5日に行われました。畑は昨年と同じ善法寺のマンションの南側の畑でした。今回はお手伝いさんは少し少なかったですが合計14人で、お手伝い内容は4種に分けられていました。里芋掘りの補助、ケガのないような見守り、トイレへの付き添い、それと学校から畑までの行き帰りの見守りです。コーディネーターさんの配慮だと思います。今回は収穫はすこ



少なかったようですが、子どもたち、皆楽しく収穫できたようです。今回はその後、子どもたちから素敵な絵や細かい配慮をしたお手伝いさんに対するきっちり書けたお礼状をもらいました。(お手伝い)



## 我が家のペット紹介

犬のルーキーと猫のラッキーです。どちらも男の子です。ルーキーは今年で15歳。4年前に腰のヘルニアで後ろ足が麻痺した状態になりましたが、手術を受けリハビリを行い再び歩けるようになりました。ゆっくりのペースですが日々お散歩を頑張っています。ラッキーは12歳になります。寒い時期は毎日布団に入ってきて私の腕枕で眠っています。ペット達と過ごす時間が私の安らぎの時間となっております。



(高橋まりこ)

## みんなのクリスマス発表会

朝の気温が4℃。あったかい日が続いていたこの秋(冬?)で最も寒かった12月17日(日)にユース交流センター・チャペル(旧英知大学)で支部と地域が音楽で交流する初めてのクリスマス発表会が行われました。会場の広さの関係で参加できたのは28名。半分が出演者でした。時節柄風邪をひかれた出演予定者がいた関係で演目や出演者は少し予定より少なかったですが、午前10時20分から12時まできっちりピアノやウクレレ他の楽器演奏が行われ、出演はいま楽器演奏を習っている小学生やベテランからピアノ教室の先生までで皆さん得意の演目を演奏されました。司会者からは演奏者の想いも紹介され、また笑いもあり最後に参加者全員でジングルベルを大合唱。支部としては初めてのスタイルでしたが、また機会があれば実施したいと思う集まりでした。



## 第4回小中島支部・愛逢合同餅つき大会

コロナ禍で4年ぶりのこの合同大会、大盛会でした。12月10日(日)にふれあいセンターで行われ、本当にたくさん、100人以上の参加がありました。それもお母さんやお父さんに連れられた小さな子供さんから90歳を越えられたお年寄りまで、お世話をする方、お手伝いをするボランティアさん、お餅をついたり丸めるする大人や子供、食べるだけの人、いろんな皆さんがとても美味しいものをいっぱい食べれた大会でした。お餅はおぜんざい、きな粉餅、大根おろし餅でした。残念なことにお持ち帰りは殆どありませんでした。

合同は4回目なのですが、この地域ではNPO愛逢が2005年に地域交流の名目でここで開始しました。その試みは小中島を拠点に置き活動する仲間同士が一緒に交えてできればいいと考えて始められたようです。

